

市公有林の主伐・再造林のモデル団地について

令和 4 年度から実施しています航空レーザ測量により把握した森林資源情報をもとに、市公有林の適正管理と二酸化炭素吸収量の増加、風水害被害の防止につながる主伐・再造林、間伐等の森林整備を積極的に取り組む「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」の策定を進めているところです。この計画の核となる主伐・再造林の実施に向け、まずはモデル団地を設定し、林業関係者と実施可能な内容と要件の検討を進めてきました。このたび、モデル団地及び主伐・再造林の要件が取りまとめられましたので下記のとおり報告します。今後、モデル団地での主伐の実施について検討を重ね、事業者の募集を予定しています。

記

1. モデル団地及び主伐・再造林の要件

(1) モデル団地の要件

- ・ 面 積：1 団地当たり 3 h a ～ 2 0 h a を基本とする。ただし、3 h a 以下でも収益が見込めるところは、主伐・再造林の実施を検討する。
- ・ 樹 種：スギ、ヒノキを中心とした森林とする。
- ・ 樹 齢：標準伐期を超えるものとする。(スギ：4 0 年、ヒノキ：4 5 年)

(2) 主伐・再造林の要件

- ・ 主伐期間：3 年～1 0 年程度とする。
- ・ 再造林の時期：主伐後に一貫作業システムを採用し、速やかに再造林を行うものとする。
- ・ 再造林の樹種：花粉症対策のスギやヒノキ、広葉樹のほか、コウヨウザン、センダンをはじめとした早生樹も植栽することで、保育経費の削減と萌芽更新による収穫回数の増加など収益が得られる樹種を選定する。

2. モデル団地の候補地

団地名		林小分班	森林簿上の樹種・面積・林齢			レーザ計測による 森林資源量 (総材積)
			樹種	面積	林齢	
市有林	王院山①	109-い-21 他 119-い-77 他	スギ	5.3ha	43～47 年生	2,288 m ³
			ヒノキ	5.3ha	43～91 年生	3,434 m ³
			マツ	4.3ha	43～88 年生	4,828 m ³
			計	14.9ha	43～91 年生	10,550 m ³
	二部	708-は-11、 709-い-47 714-い-84 他	スギ	5.2ha	47～49 年生	2,690 m ³
			ヒノキ	2.7ha	21～25 年生	858 m ³
			計	7.9ha	21～49 年生	3,548 m ³

【モデル団地位置図】

